



●甲府やまなみクラブ会長主題：千里の道も一歩から

～ 一歩ずつ着実な歩みを進めましょう ～ 米山 俊彦

●あずさ部長主題：めあてを望み ピーター・マウントフォード (甲府)

●東日本区理事主題：ワイズの方向を見極める 山田 公平 (宇都宮)

●アジア太平洋地域会長主題：大きなインパクトを起こそう ジョウン・ウォング (香港)

●国際会長主題：より良い世界のために、共に A・シャナヴァスカーン (インド)



甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2025年 3月
No.30

●今月の強調目標
CS・Green Project
メネット

●今月のことば
「みんなつながっている」

遠藤 恭範 君 選

今月の例会案内 (第30回)

- 日時：2025年3月5日(水) 18:30～20:30
- 会場：山梨YMCA
- 会費(食事代):1,000円
- ・開会点鐘 米山 俊彦 会長
- ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
- ・ワイズソング 一同
- ・会長あいさつ 米山 俊彦 会長
- ・今月のことば 遠藤 恭範 君
- ・ワイズディナー
- ・ゲスト卓話
「消費者トラブルの事例と対策について」
甲府市消費生活センター消費生活相談員
岩井かすみ 様
- ・諸報告
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 米山 俊彦 会長

Photo
of
monthly



【2月5日(水)やまなみクラブ3月例会(山梨YMCA)】

2月のデータ

会員数:11名 例会出席メンバー:9名
例会出席率:82% ニコニコ:4,830円

ハッピーバースデー

メン 遠藤 恭範 (3/3)
三井 雅之 (3/26)

アニバーサリー

米山 俊彦・千恵 (3/25)
仙洞田安宏・克子(3/27)

今月のことば 遠藤 恭範

母校の小学校の100周年記念式典が開催され、自分の子供達が在校生なので式典に参加する機会をいただきました。冒頭に全校生徒の校歌斉唱がありました。小学生が歌いだすと自然と私も歌い出しましたが、一気に40歳ほど若返り小学生だった時代にタイムスリップした感覚に包まれました。初めて感じる純粋な温かい感覚でした。

式典は生徒の発表などもあり厳粛かつ微笑ましく進行しました。最後に、小林真人さんという山梨市出身のピアニストの方が作った合唱がありました。「明日を信じて」という楽曲でした。その歌詞のサビ部分を紹介します。

「みんなみんな つながっている 私が生まれてきたことも、みんなみんな つながっている あなたが生まれてきたことも、今を大切に 生きよう 明日を信じて」 40年前にタイムスリップした後に聞いたので、40年間のみんなとのつながりをありがたく思うきっかけになりました。

ケニアの今昔を知った2月例会 仙洞田安宏

2月5日(水)、やまなみクラブ2月例会が、山梨YMCAで開催されました。定刻通り、18:30に米山会長の点鐘で開会、会長挨拶では、初めてホストした4クラブ新年合同例会への協力に感謝するとともに、2月のTOFの意義について語られました。

おにぎりとお茶で簡単な食事を済ませた後、松本公夫さんによる「ケニア今昔～JICAの経験を通して」と題する会員卓話に入りました。

松本さんは自分の将来に思い悩んでいた20代の頃、米国ケネディ大統領の平和部隊構想に刺激され、青年海外協力隊に応募し、自動車関連の技術指導でケニアに派遣されました。2年間の予定でしたが、趣味のバレーボールを地元の若者たちに教えたところ、チームが好成績を収めたことから請われて6年間の滞在になったそうです。卓話ではケニアの基礎的なデータの紹介、当時と現在のケニア及びアフリカ諸国の状況を写真で比較しながら説明されました。首都では高層ビルが立ち並んでいます、一方スラム街も存在しているとのこと。

2月例会ニコニコメッセージより

▼「10年後の世界」を夢見ようとの掛け声で会議&講演会が快晴の下で成功致しました。(渡邊 隆)

▼今日はTime of Fast 世界は飢餓の国も多く考えると、大変な現状です。少しでも改善されることを祈るしかありませんが、少しでも協力したいと思います。(松本公夫)

▼例会に出席できて感謝です。(大澤祥子)

▼①いつも多方面で活躍されている松本さんの原点がケニアでの経験ではないかと思いました。

②福田さん、ありがとうございました。新天地でも健康に留意されてご活躍下さい。(仙洞田安宏)

やまなみ農園だより

3月1日(土)、やまなみ農園に行ってきました。11月16日に植え付けた玉葱の様子は、一部のエリアで発芽しませんでした。追肥をしました。また、渡邊さんからジャガイモとサツマイモの耕作計画図が提案され、ジャガイモの植付けのための畝を作りました。作業:渡邊・ピーター(甲府クラブ)・仙洞田



また現在、山梨青年海外協力隊協会の事務局長という立場から、JICA(海外協力隊)の働きについても歴史を交えて紹介されました。

さらに、ケニアなどから山梨学院大学へ留学している陸上競技の選手のサポートを長年されていることから、これについての近況も報告されました。

諸報告では、

①会計の遠藤恭範さんから、前期の会計報告と新年合同例会の決算報告

②次年度の役員構成については、今年度の再任とする。

③YMCAの福田さんから、ピンクシャツデー(2/25～28-26日にパレード)の案内と、3月いっぱい山梨YMCAを退職する旨の報告がありました。やまなみクラブのチャーター以来、担当主事として貢献されてきたことに感謝申し上げます。

また、松本クラブのファンド事業の土佐文旦をクラブで購入したので、出席者で分けました。

出席者:米山・松本・渡邊・遠藤(成人)・遠藤(恭範)・大澤・藤原・仙洞田・福田



【会員卓話をする松本公夫さん】



【上:ジャガイモ植付けのための畝、左:玉葱の様子】

「ワイワイ甲府評議会」に参加して

米山 俊彦

この時点では、“今季最強”と言われた寒波に日本列島が覆われた2月8日土曜日、2024-2025年度の第2回あずさ部評議会が、山梨YMCA大澤英二記念ホール「ベテル」で開催されました。

やまなみクラブからは、仙洞田さん、大澤さん、藤原さん、福田さんと私の5名が参加しました。

最高気温が7.9℃と寒い1日ではありましたが天候には恵まれ、YMCA3階の会場からは、晴天を背景にして頭に白い雲の帽子を被った富士山が望め、東京からのメンバーは喜んでいました。

今回のホストクラブである甲府21クラブの輿水会長からは、歓迎の挨拶の中で、ワイズ活動の中心がYMCAの支援である事と今回の会場がYMCAである事からYMCAの「Y」を取って「ワイワイ甲府評議会」と命名したとの話がありました。

ピーター部長の挨拶に続いて議案審議に入り、第1号議案として「2025-2026年度あずさ部役員承認の件」、第2号議案として「2026-2027年度あずさ部部長承認の件」、第3号議案として「2024-2025年度あずさ部CS/Yサ事業助成金支払の件」が原案どおり承認され、次年度は東京武蔵野多摩クラブの山口直樹氏を部長とする役員体制と2026-2027年度の部長は、松本クラブの大和田浩二氏に決まりました。

評議会の後にはグループ討議が行われ、ピーター部長から提案がありました「事前検討項目」と山口次期部長の「2025-26あずさ部活動方針案」を基にあずさ部の運営について話し合いを行いました。

2人の検討項目に共通していたのは、部の役員の負担軽減の必要性とクラブの活性化の方策で、会員の高齢化や会員数が伸び悩む中で、ワイズが抱える重要な課題だと思います。各グループで熱心な討議が行われたので、今後、その結果がまとめられ、次期以降のあずさ部の運営に反映される事を願っています。

懇親会の中で、佐藤重良東日本区法人推進委員会委員長から、ワイズ活動の活性化に向けた東日本区の法人化について説明があり、大和田浩二東日本区書記からは、6月7日に宇都宮で開催される東日本区大会と8月1日から3日にかけて熊本で行われるアジア太平洋地域大会への参加依頼がありました。

アピールタイムでは、山梨YMCAから新たな取り組みとして、不登校児童生徒のためのフリースクールの開設といじめ防止キャンペーン「ピンクシャツ・ウィーク」について説明と協力依頼がありました。

様々な課題を抱える子供達のために積極的に新たな事業に取り組むYMCAの皆さんに改めて敬意を表します。そして、ワイズとして今後も協力をしていきたいと思っています。



ワイズニュース

- ✓ 東日本区大会の登録受付が始まりました。
- ・期日:6月7日(土)
- ・会場:ライトキューブ宇都宮(JR宇都宮駅直結)
- ・登録費:18,000円
- ・登録締切:5月15日(5月16日以降の登録は20,000円)
- ・FAXにて申込み 028-662-6063

- ✓ 第31回アジア太平洋地域大会の登録受付が2月1日から始まっています。
- ・期日:8月1日～8月3日
- ・会場:熊本市・熊本城ホール
- ・登録費:45,000円 ・登録締切:7月11日
- ✓ 2月28日、使用済み(押印済み)切手を東日本区事務所へ郵送しました。
- 国内切手:138g、海外切手:60gでした。



山梨 YMCA 総主事
中田 純子

「こどもの声に耳を傾けて」

先月2月26日、いじめ防止を訴える「ピンクシャツデー」のパレードを実施し、チャイルドケアの利用児童約40名が甲府市長、甲府市教育長へ表敬訪問を行いました。ピンク色のシャツや手作り小物を身に着けた子どもたちは、自分たちで考えたテーマである「たいせつなじぶん・たいせつなあなた」と共に、いじめのない社会を願うメッセージを発信しました。ワイズメンズクラブの方々のご参加もあり、とても心強くこどもの声が少しずつ波及していることに感謝いたします。当日の様子をUTY(テレビ山梨)のニュース番組「すごろく」で、また翌日の山梨日日新聞紙上で活動が紹介されました。運動体であるYMCAの活動が多くの方々に周知されることはこどもの声が届く第一歩であると考え喜ばしいことであつたと思います。

また、3月にはフリースクール「わいわいクラブ」がいよいよ開所いたします。「学校に行きづらいな…」と感じている子どもたちの声に耳を傾け、第3の居場所として地域の課題とニーズに応じていこうと思います。これは単なる不登校支援にとどまらず、大きな社会課題があると考え取り組みたいと考えております。

子どもたちは大切な命を与えられ、この世に生まれてきたひとりひとりです。人間が誕生し最初に泣くことから始まり、全てにおいて初めての「できた」を重ね、共に喜びの時のはずです。この喜びでこそが子育てそのものなのです。

山梨YMCAには、心と体の体験活動を育む場所があ

ふれ、心と体の両面にわたる豊かな体験活動の提供が可能です。山梨の豊かな自然「銀河鉄道の森」の中で、挑戦と達成感を味わう「自然体験」、地域活動やボランティアを通じて、他者への思いやりを育む「社会貢献活動」、音楽や芸術を通じて、創造性と自己表現力を高める「芸術体験」、乳幼児や高齢者との交流を通じて、コミュニケーション能力と共感性を養う「多世代交流」。これらの体験の中には、子どもたちの心に深く刻まれ、感動、湧き上がる喜び、大声で叫びたくなるあの瞬間の気持ちを体験できる時こそ彼らの大きな糧となるのです。ここには、将来の糧となる場所が多くあります。また、ここ山梨YMCAは、0歳から一生涯まで幅広い世代をつなぐ環境を有しています。この強みを活かし、フリースクールの子どもたちに多様な交流と体験の機会を提供します。保育園、学童保育や放課後等デイサービス、高齢者との連携により、子どもたちは様々な年代の人々と関わり、社会性を育みながら、自分の居場所と将来の可能性を見出すことができるでしょう。

不登校は大人が作り上げた言葉であつて、大事なことは、ここに隠された子どもたちからのメッセージです。山梨YMCAフリースクールは、その声に耳を傾け、一人ひとりの子どもが自分らしく成長できる居場所を提供いたします。心と体の豊かな体験を通じて、子どもたちが自信を持ち、輝かしい未来を切り拓く力を育てていけることを目指します。

ぜひ、ワイズメンズクラブの皆さんとの協力体制を深め、地域社会の課題解決に向けて共に歩むことを希望いたします。これからも、子どもたちの笑顔のために、地域のために、山梨YMCAは全力で活動していきますのでご協力をお願いいたします。

YMCA史学会にZOOMで参加

仙洞田安宏

YMCA運動を史学の面から研究・考察する「YMCA史学会」という団体があり、私も東日本区のヒストリアンというお役目もあり、会員になっています。毎月定例会がありますが、なかなかリアルに出席することは叶いません。去る2月の定例会は2月20日に開催され、発表のテーマが「ヴォーリズとYMCA-建築家を生んだ奇跡の連鎖」で、しかもZOOMで参加が可能ということでしたので、参加しました。

発表者はウィリアム・メレル・ヴォーリズの片腕として働いた、吉田悦蔵のお孫さんである吉田与志也氏(立命館大学社会システム研究所上席研究員)で、ヴォーリズが英語教師として来日するも解職され、その後建築家としての道を歩む過程を詳細に紹介されました。

私も数年前、ヴォーリズ建築を訪ねて近江八幡へ旅したり、ヴォーリズをモデルにした小説「屋根をかける人(門井慶喜・著)」を読んだりしたので興味深く拝聴しました。



【当日のプレゼンのトップページ(スクリーンショット)】

これからの予定

- ✓3月 7日(水) チャリティーラン実行委員会(山梨Y)
- ✓3月15日(土) 福田奈里子さん追い出しコンパ
11:00~13:00 山梨YMCA
- ✓3月26日(水) クラブ役員会(山梨YMCA)
- ✓4月19日(土) Week 4 Waste 野外例会
北口よっちゃんばれ広場清掃の後
例会 11:00~14:00